

地域公共交通について

活発で良い議論が

できる会議のために。

地域に合ったより良い公共交通の
未来に向けて、今から議論をしっかりと、
着実に重ねよう。



全国の地域公共交通が、 いま、大ピンチです!



利用者の減少

利用者が減り、路線が減少し続けています。

採算の悪化

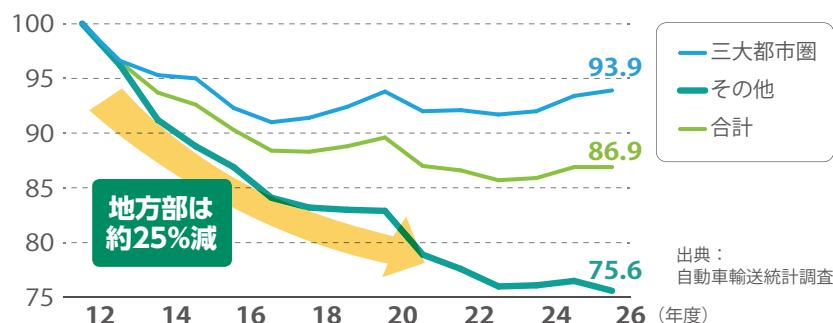
路線の縮小・廃止

鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー等、様々な公共交通があります。

でも、今、地方の公共交通は利用者が減少傾向にあり、結果、路線も減少し続けています。

あなたの地域には、
どんな公共交通が走っていますか？

バス輸送人員の推移(H12年度を100とした場合)



地域のみんなが豊かに暮らすために、地域の公共交通はとても重要です。

地域にはいろいろな人が住み、いろいろな場面で公共交通を必要としています。

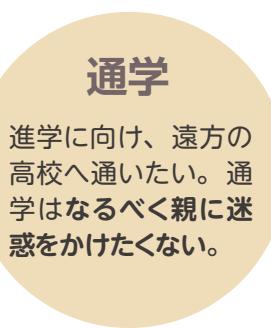
通院・買物

自分で運転するのが不安だわ。でも、通院や買物は自分1人で行きたいし。



通学

進学に向け、遠方の高校へ通いたい。通学はなるべく親に迷惑をかけたくない。



通勤

日々の通勤、渋滞もすごいし、車でいくのは疲れるな。



観光

地域の良いところ、いろいろとゆっくり、回りたいな。



地域公共交通があることにより1人ひとりが自立した生活を送れ、
そして、まちに人を呼び込むことができて、賑わいや活気へつながります。

地域公共交通は、まちづくりには欠かせない大切な要素です。

地域公共交通がなくなつて困ることは？ あつてできることは？

5年後、10年後、地域の公共交通を維持するために、 今からできることをしっかりと、考えていく必要があります。

「地域公共交通会議」は、 地域にふさわしい公共交通をつくりあげていくために、 住民、交通事業者、行政など関係者みんなで、 話し合って決める場です。

※地域公共交通に関する会議の仕組みや呼び方は地域によって異なります

地域公共交通会議で話し合うこと

運行について

ダイヤやルートの見直し、停留所の位置や運賃など、利用者にとって使いやすいものを目指します。また、きちんと運行され、改善が図られているか、地域の関係者みんなで確認します。

利用者を増やすために

地域公共交通の利用者を増やすため、みんなでいろいろなアイデアを持ち寄り検討します。

地域全体の、公共交通の将来について

まちや地域全体のあり方など、将来を見据えた広い視野をもって、今後どのような地域公共交通が必要か関係者みんなで考えます。

その他、交通に関する、計画づくりや補助金の申請など…

でも、なかなか思うように発言できないことは、ありませんか？

1.

地区の住民代表として「地域公共交通会議」の委員になったぞ。がんばらねば！でも、専門の方も多いようだし、緊張するな…

2.

会議スタート

事務局が資料説明

うーん。なんだか難しい内容だな…。よくわからない。

シン…

3.

座長

それでは、〇〇について、何かご意見はありますか。

シーン…

4.



何を話してよいかわからない…
何を求められているのだろう？

それでは、ご意見ございませんので、議案のとおりでよろしいですか。

5.

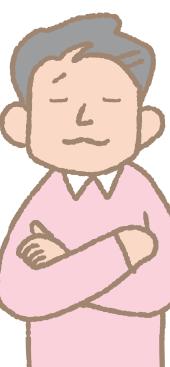
＼ 異議なし /＼ 異議なし /



座長

結局、なにも意見を言えなかつた。公共交通の大切さはわかるけど、住民の立場として、どんなことを言えばよいのかな。

6.



せっかく参加する会議。あなたの意見で公共交通を良くするためににはどうすればいいのでしょうか？

会議の参加者とその役割

※会議によっては、参加者が異なる場合があります。

参加している人はどんな人たちで、どんな立場で参加しているのでしょうか？

住民代表

- 日頃から感じている、利用するうえでの課題、困ったことを伝える
- 地域の視点から、公共交通に関する課題や、必要な取り組みを提案

利用している大型スーパー最寄りのバス停が、店からちょっと遠いんです。買い物の後、重い荷物を持って移動しなければいけないから、**スーパーの入口までバスが入れるとうれしいな**という声があります。

身近な影響への質問

法律、制度など専門的なことへの質問

解説・助言
改善に向けた提案

座長

- 議事の進行
- 話しやすい雰囲気づくり、会議の活性化
- 議題によっては、事務局や関係の強い委員に発言を促す

日頃感じているご意見、ありがとうございます。利便性向上に向けた貴重な意見かと思います。**乗り入れについて議論しましょう。**

市町村

- 市町村としての方針を提示
- 地域の活性化やまちづくり等の立場から発言

スーパーへの乗り入れに対する**要望については、住民アンケート等**でもあがってきてています。

わかりやすい説明

事務局

- 会議の設計、運営
- 関係者との調整・連携
- 事業の実施状況の報告
- 必要な資料のとりまとめ

商業施設の乗り入れは、各専門分野のみなさんと調整し、確認します。

日頃から連携

学識経験者

- 交通やそれに関連する分野の有識者としてアドバイス

商業施設から、バス利用者への割引券の発行など、**連携した取り組みができる**といいですね。

交通事業者

- 公共交通運行の当事者
- ノウハウを活かした企画提案

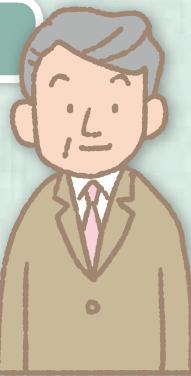
スーパーへの乗り入れについては、バスを小型化すれば可能になりますが、反面、乗れる人数が減りますので、**通勤・通学の際は乗れない人が発生**してしまいます。

事業の確実な実施に向けた調整
専門的な立場からの判断

運転者団体

- 労働条件及び労働環境の観点で助言
- 運行の実情を伝える

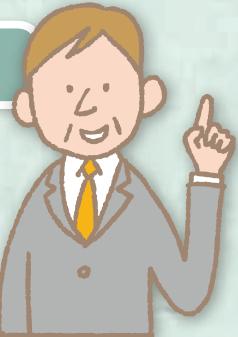
入り口が狭いので、**回り道をすれば入るのは可能**だと思います。



道路管理者

- 道路管理上の観点から助言

事前に確認したところ、**道路幅は問題ありません。**



公安委員会・警察

- 交通保安上の観点から助言

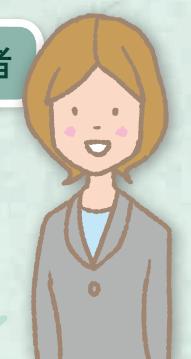
商業施設のバス停の位置については、**現場の確認が必要**です。



都道府県の交通政策担当者

- 市町村の境界を越えた、広域的な視点で助言

A市でも同じような課題があり、**調整して乗り入れができました。**参考にしてください。



運輸局

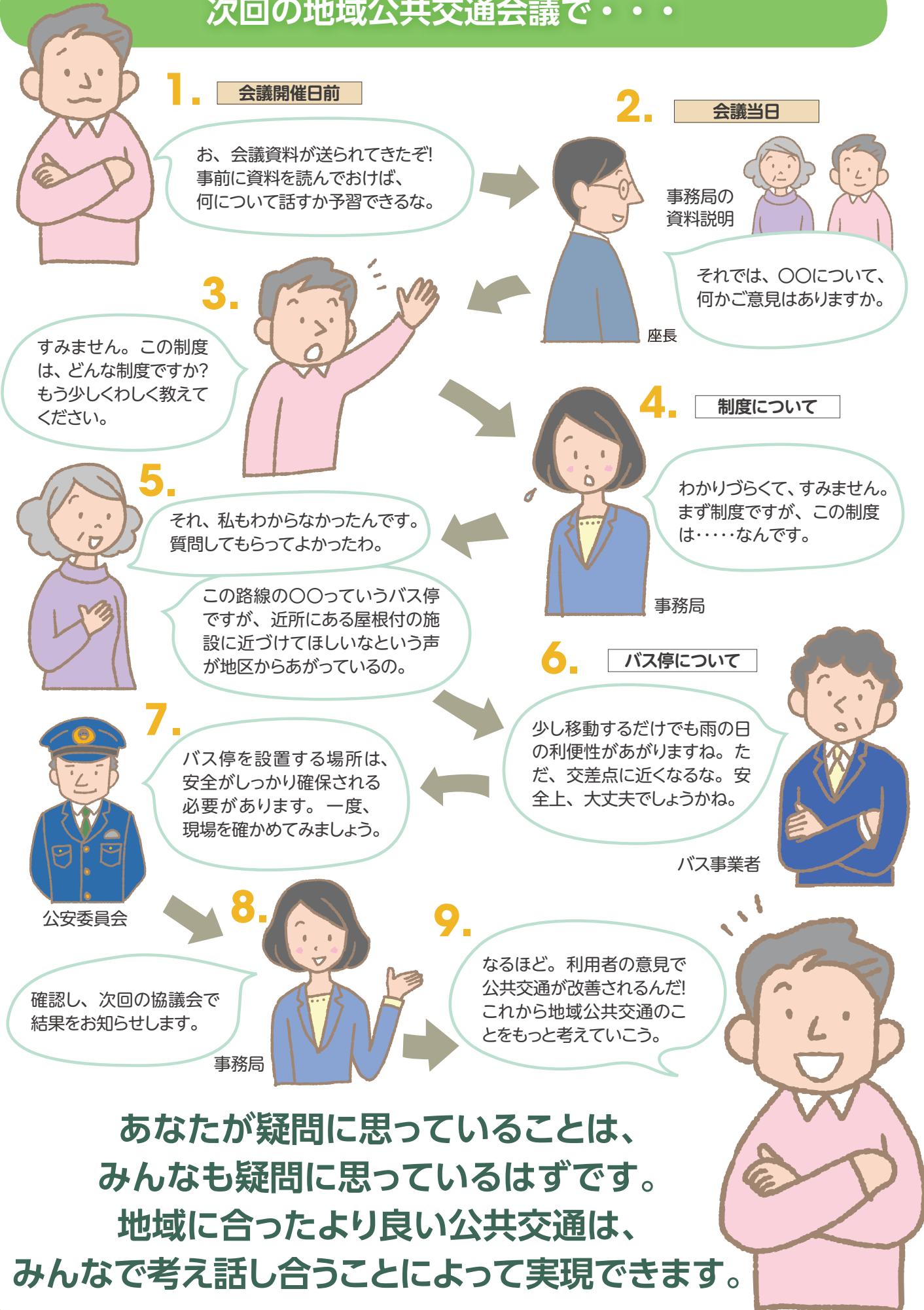
- 地域の公共交通のあり方について助言

商業施設への乗り入れは、**延伸**になるので国への申請が必要ですね。



みんなで話しやすい、場づくりをしましょう

次の地域公共交通会議で・・・



素朴な疑問

Q

どんな発言でも大丈夫?
地域公共交通についての
提案はしてもいいの?

委員の方の意見や提案で地域公共交通が良くなった事例はたくさんあります。日ごろ気づいたこと、わからないこと、地域公共交通を良くする取り組みなど積極的に発言してください。

地域公共交通にはみなさんの税金が使われていますので、お住まいの地区だけでなく、地域全体をより良くするという視点で発言しましょう。

Q

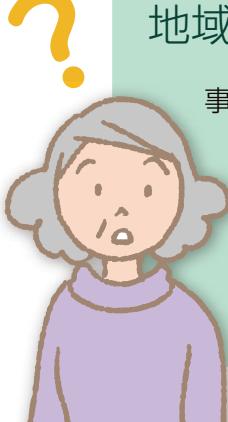
会議以外では何をすればいいの?

地域公共交通を日頃利用されない方は、この機会に利用してみましょう。利用することで、普段とは違った視点で地域の状況を知ることができます。

また、会議で地域公共交通について真剣に話し合っていることや、その結果などについて、地域のみなさんに広く知っていただくようにしましょう。

Q

住民代表といわれても、ほかの
地域のことはよくわからないわ。



事前に地域の意見を集めている委員さんもいます。ご自身で、できる範囲で、周りの方の意見を集めるようにしましょう。会議によっては、住民としての意見を独自に議論する場（分科会など）を組織しているところもあります。

Q

会議で決定したことは
どうなるの?

会議で路線、ダイヤ、運賃などの変更が承認されれば、それは議会での予算承認を経て実行されます。みなさんの生活に直結することなので、しっかりと話し合って決めましょう。

POINT

1

地域における公共交通の役割や将来を考えて議論をしましょう!

地域には、自治体が運営するバスだけでなく、民間バスやタクシーも運行しており、それぞれには役割があります。地域全体を視野に入れ、それぞれの公共交通の適切な役割分担も踏まえながら、議論することが重要です。

また、今必要だという視点だけでバスを走らせて、当初の予定より利用者や収入が少なく、すぐに運行が行き詰まってしまうこともあります。地域の将来を想像しながら検討しましょう。

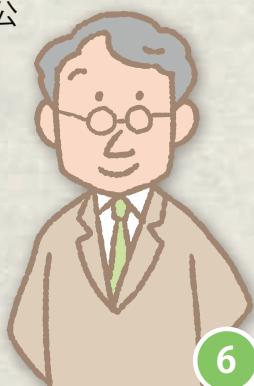
このように、「公共交通の役割分担」や「地域の将来」、など広い視点を持って、より良い公共交通していくために、利用者や現場の意見を活かして、定期的に見直しを行い、改善をしていきましょう。

POINT

2

お互いの立場を尊重し、議論をしましょう!

地域公共交通会議では、自分の意見を伝えることが大事です。一方、他の委員の意見を聞くことも大事です。様々な立場の人方が集まりますから、意見が一致しないこともあります。まずは否定せずに、お互いの立場について理解を深めましょう。



住民の発言から、より良い地域公共交通としていく 取り組み事例をご紹介

認知度向上に向け、イベント等を活用したPRを実施
～利用者増加にはまずは知ってもらう～



意見を
うけて

地区で開催されるお祭りにあわせて、会場に行きやすい臨時便を運行しました。臨時便は、普段のルートから遠方を回るスーパー や病院を外した、交通結節点を結んだルートで、民間バスとの乗継ぎも考慮したものとしました。普段、バスに乗らない人たちに乗ってもらう機会につながりました。

地域の人たちに、コミュニティバスをもっと知ってほしい。
地区のお祭りを利用して、「乗ってもらう機会」をつくれないかな!

意見を
うけて

事務局は時刻表を渡し、その後イベントでの配布につながりました。

日頃の活動の中で、コミュニティバスを知ってもらう取組みにご協力いただける機会がありましたら、ぜひご提案ください。

利用者を増やすためには、まずはコミュニティバスを知ってもらうことが必要だと思います!私が、開催しているイベントで時刻表を配布し、PR活動のお役に立てたらと思います。



日頃感じていた「心配」を語ることで、バスの乗降環境が改善

意見を
うけて

すでにバス停付近の縁石を取り外したところもありましたが、まだ残っている場所もある状況でした。住民代表の意見をうけて、「乗降環境の整備」の必要性が再認識され、計画立てて取り組むことになりました。また、会議開催後、指摘があったバス停付近のブロックは取り除かれ、乗降しやすい環境となりました。

バスを乗り降りする場所で、歩道と車道を仕切る縁石が高く、越えるのに一苦労であります。バスが接触しないか心配しています。安全性を確認してほしいです!



バスを乗り降りするとき、いつも危なくて!

意見を
うけて

小学校の統廃合に伴い、既存のバス路線、ダイヤの見直しが協議されていました。その中で、事務局が提示した変更案では「地域の実情を十分に反映していないのでは」との声があがりました。

奥の地区に住む子どもたちが、利用できるバスがなくて。歩いて帰るのは危険なんです。



既存ルートから奥の地区まで延伸することになりました。延伸にあたっては、地区の住民とも話し合いを行い、小学生・中学生や高齢者の生活に合わせたダイヤとし、利便性の向上につながりました。

高齢者の方がバス停までの上り坂を歩くのが大変そう。もう少し、延伸できないでしょうか。



[お問い合わせ]

[発行]